

富士見地区自主防災訓練用チェックシート

実施日

2012年 9月 2日(土)

04

避難会場：参加自治会、団体名（参加人数等の詳細は別紙）

富士見小学校：青木第1 青木第2 緑町
中居 前田 富士見町
(柳原の栄町、川寺、笠縫は?)

目的

1. 次回の訓練までに改善出来るように記録を残す

2. 万が一の時の準備の確認

- ・数量 一備蓄品の確認(資機材、生活用品、飲食料品)
- ・スペース一避難所の収容能力、けが人、妊婦、女性専用の部屋、遺体収容スペースの確認
- ・安全性 一屋内、屋外、道路、電気、水道、救助体制、火災発生(初期消火体制)の確認
- ・安心 一弱者への配慮一乳幼児、女性、病人、けが人、障害者、
高齢者など要支援者の対応の確認
一避難先での生活(暑さ、寒さ、寝起き、食事、トイレ、ゴミ等)
一情報発信、入手手段の確認

3. 帰宅困難者の対応の確認

- ・他からきて帰れなくなった人の対応の確認
- ・自宅に戻れなくなった人の安否確認

4. 防災訓練を通して地域コミュニティーが図れたか確認

- ・自治会内一各班、大人、子供の交流の確認、井戸保有家庭、医療関係者、電気、ガス、
上下水道、店舗などとの交流
- ・他自治会との情報交換一安心、安全の確認(備蓄庫、初期消火の協力体制)
- ・避難先と地域一学校、行政センター福祉施設と地元の交流の確認

資料：市指定避難所 ①富士見小学校 ②飯能第一中学校 ③富士見行政センター
④富士見保育所 ⑤総合福祉センター ⑥大川学園医療福祉専門学校
福祉避難所 ①ベテラン館ましば

富士見地区自主防災訓練用チェックシート

1. 準備

1) 会議

☐ 参加者：自主防災組織(自治会、消防団)以外の人に参加はできたか

☐ (1) 行政関係

- ☐ 行政センター
- ☐ 危機管理室
- ☐ 総合福祉センター
- ☐ 市民活動センター

☐ (2) 学校関係

- ☐ 富士見保育所、杉の子保育園、さゆり幼稚園、富士見学童など
- ☐ 富士見小学校
- ☐ 第一中学校、聖望学園、大川学園医療福祉専門校
- ☐ 中学生、高校生の代表

☐ (3) 医療関係

- ☐ 病院-医師、看護師、接骨医
- ☐ 歯科医
- ☐ 薬局
- ☐ 民生委員、母子愛育会

☐ (4) 企業など

- ☐ 丸広、ベルク、華屋与兵衛、徳樹庵、ステーキガスト、バイゴー、Big-A
- ☐ 西部ガス、電気、ガス、上下水道工事関係
- ☐ 飲食料品店、衣料品店、コンビニ、JAいるま野
- ☐ 飯能信用金庫
- ☐ 玉宝寺
- ☐ 西武鉄道、JR東日本(高麗川駅)

☐ (5) 弱者

- ☐ 女性
- ☐ 乳幼児、子供
- ☐ 要支援者(障害者、高齢者など)

2) 周知

☐ (1) 訓練の内容、時間などの計画は住民に事前に知らされていたか

☐ (2) 各自治会の住民に資料配付、回覧などされていたか

☐ (3) 自治会に入会していない住民、企業、団体にも声を掛けたか

富士見地区自主防災訓練用チェックシート

2. 自宅→避難所

☐ (1) 1次避難所（公園、店舗前、駐車場など）の確認、周知が出来ていた

☐ (2) 1次避難所→市指定避難所までの道程

- ☐ 夜間電気なしの状況でも行くことができるか
- ☐ 倒壊したら危険な場所の確認はできた
- ☐ 自動販売機
- ☐ 家屋、屋根などの落下物
- ☐ ブロックなど塀
- ☐ 街灯、防犯灯、
- ☐ 店舗の看板
- ☐ 電柱が倒れた後の電線

☐ (3) 持参品

- ☐ 濡れタオルなど持参できた（指定避難所に行くまでの火災用、暑さ対策など）
- ☐ 座布団や新聞紙など持参できたか（余震による落下物から身を守る、防寒用など）

☐ (4) 安否確認はできたか

- ☐ 独居高齢者など要支援者の担当者は確認し、連絡・報告ができた
- ☐ アパート、マンションの住民は全員避難できたか
- ☐ エレベーターに閉じ込められた人はいないか確認できたか
- ☐ ケガ、病気の場合どこに避難すれば良いか理解されていたか

3. 救出、救助

☐ (1) 火災

- ☐ 初期消火の態勢は出来ている。（組織、資機材）
- ☐ 消防団員、消防署員とそれぞれのOBの応援態勢ができ訓練に参加している
- ☐ 消火栓の位置確認、消防団員などがいなくても自主防災会で消火活動が出来る

☐ (2) 倒壊

- ☐ 救助の態勢、組織は整っている（消防関係は道路破壊、火災で到着できない事を想定）
- ☐ 救助用の資機材は整っている
- ☐ 自分たちで、救助活動が出来ない場合の応援要請の方法が決まっている

富士見地区自主防災訓練用チェックシート

4. 避難所

□（１）建物

- ☐ 施設の鍵の所有者確認、開錠は容易に出来たか
- ☐ 入室、使用に耐えられるか確認作業は行ったか
- ☐ 雨漏りなどの確認は行ったか
- ☐ 夜間停電でも避難者を誘導出来たか
- ☐ 天井の照明器具などの落下の危険性は確認したか
- ☐ 使用可、不可の区域を明確に表示でき避難者が理解できた。

□（２）受付

- ☐ 受付場所は明確に表示され、住民は容易に受付に来ることが出来たか
- ☐ 電気が無くても受付作業は順調に出来るか
- ☐ 地元住民で避難場所に来ていない人の安否確認はできたか
- ☐ 雨、雪、強風時でも問題の無い場所で受け付けが出来るか
- ☐ 地域外の帰宅困難者にも判りやすくなっていたか
- ☐ 受付名簿は速やかに作成し、加除も適切にできた
- ☐ 受付名簿は個人情報漏洩しないよう管理できた
- ☐ 持病での常用薬等が受付名簿に記載され、医師、看護師に報告できた

□（３）資機材、生活物資

- ☐ 自家発電、照明器具などは確認できたか
- ☐ 真夏の熱中症対策（大型扇風機等）の準備がされているか
- ☐ 真冬の寒さ対策（毛布、ストーブ等）の準備がされているか
- ☐ 建物の修復用具は揃っているか（雨漏り、風よけ、器具の落下防止など）
- ☐ 簡易トイレの数量は十分か確認したか
- ☐ トイレトペーパーは避難人数に応じて用意されているか
- ☐ 乳児用粉ミルク、水、お湯は用意されているか
- ☐ 紙おむつは十分用意されているか
- ☐ 女性用生理用品の数量は十分にあるか
- ☐ 医薬品（風邪薬、胃薬、下剤、下痢止め、目薬、消毒薬、バンドエイド、包帯、かゆみ止め、痛み止めなど殺虫剤（蚊、はえ用など）は準備されているか
- ☐ 井戸のある家の地図は作成してあり、使用可能か確認してある
- ☐ 生活水（食器洗い、トイレ用など）の確認は出来た
- ☐ 飲食料品の準備は十分か確認した
 - ☐ 飲料水 避難人数 × ○日分
 - ☐ 食料 避難人数 × 3食 × ○日分
- ☐ 災害対作本部や地区内の他の避難所との連絡手段は確認できたか
（電話、携帯電話等が使えない事を想定…アマチュア無線等）

富士見地区自主防災訓練用チェックシート

□（４） 避難所運営

- ☐ 避難所運営マニュアルは準備されているか
- ☐ マニュアルの内容は実運営に適合しているか確認し、不備な点は改訂したか
- ☐ 避難所運営委員会（会長、副会長、総務、情報、被災者管理、食料・物資、救護、衛生、ボランティア等）の各活動班及び居住区の組長などが速やかに設立できたか
- ☐ 避難人員数に見合った広さ（スペース）は確保されていたか
- ☐ 地区ごとに、どの指定避難場所は事前に確認されていたか
- ☐ 夜間、電気の無い状態で避難所の設営ができるか確認したか
- ☐ 遅れて来た地区住民はどの場所に避難するかすぐに理解できたか
- ☐ 買い物、通院、食堂、仕事（会社、事務所）などに来ていた人はどこに避難すれば良いのか周知されていたか
- ☐ 帰宅困難者（外部から来て帰れない人）の対応者の担当は決まっていたか
- ☐ 女性専用の部屋は確保出来たか
- ☐ 授乳、おむつ換えの部屋は確保出来たか
- ☐ 病人、けが人の部屋は確保出来たか
- ☐ けが人の対応は医師、看護師等によるトリアージカードで確認出来たか

5. 地域コミュニティとして

□（１）住民参加について

- ☐ 自治会に加入していない世帯、企業、団体も参加できていたか
- ☐ 乳幼児も参加していたか
- ☐ 小・中・高校生、大学生、専門学校生の参加はあったか
- ☐ 女性、男性の比率はほぼ同数であったか
- ☐ 高齢者の参加はあったか
- ☐ 要支援者の参加はあったか
- ☐ 企業の人たちの参加はあったか
- ☐ 参加した住民同士の話し合いは十分出来たか

□（２）他の自治会、自主防災会とのコミュニケーションは良かったか

- ☐ 備蓄庫の配置、内容物、鍵の所有者の確認ができた

□（３）学校、自治会、自主防災会、企業、医療機関等とのコミュニケーション

- ☐ 訓練の目的を事前に共有出来ていたか
- ☐ 訓練への参加依頼、は出来ていたか
- ☐ 訓練の役割分担など事前準備、打ち合わせは良く出来ていたか